(様式3)

**リサーチアシスタント　申請書（平成30年度RA2次）**

（1）申請者情報（2018年10月1日時点）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  申請者氏名 |  | | |
| 所属機関名 | 大学大学院　　　　　　研究科　　　　　　専攻 | 学年 | 年 |
| JAXAにおける  受入教員氏名 |  | | |

（2）主な研究業績（p.3-4に記載したものと同じ数値を記載してください）

|  |  |
| --- | --- |
| 査読あり論文（筆頭著者）：　　　　　　編  査読あり論文（筆頭著者以外）：　　　　編  ※著者名がアルファベット順の場合などは筆頭著者とそれ以外を分ける必要はない。その場合はその旨記載すること。 | 国内学会・研究会発表回数：　　　　件  （うち招待講演：　　　　件） |
| 査読なし論文  （会議のプロシーディングス等）：　　　　　編 | 国際会議発表回数：　　　　　件  （うち招待講演：　　　　件） |
| その他の論文（日本語解説等）：　　　　　　編 |

申請者氏名:

|  |
| --- |
| （3）【学術研究・研究開発業務の内容】（1ページ以内）  計画しているRA業務内容について、図表等を用いてわかりやすくまとめてください。 |

申請者氏名:

|  |  |
| --- | --- |
| （4）主な研究業績  ①学術雑誌等に発表した論文を以下のカテゴリ毎に［著者名（全員、申請者に下線）、論文題名、掲載誌名、巻、開始-最終頁、発表年（西暦）、あればURL (DOIなど)］の形式で記載してください。なお、投稿中で掲載未定の論文は末尾の総数には含めないこと。  ※1　筆頭名がアルファベット順の場合などは筆頭著者と筆頭著者以外分ける必要はない。その場合はその旨記載すること  ※2　著者が多数の場合には筆頭著者名と著者数、本人が何番目かを記載すればよい  ※3　カテゴリ毎の枠の高さは調節してよい。それでも書ききれない場合はページを追加してよい | |
| ○査読あり論文（筆頭著者） | |
| ○査読あり論文（筆頭著者以外） | |
| ○査読なし論文（会議のプロシーディングス等） | |
| ○その他の論文（日本語解説等） | |
| ○投稿中論文（掲載未定） | |
| 論文総数 | 編 |
| 上記以外に発表した著書などの総数 | 編 |

申請者氏名:

|  |  |
| --- | --- |
| （4）②国内学会・シンポジウム等、および国際会議において申請者自身が登壇した招待講演、口頭発表、ポスター発表について、［著者（全員、申請者に下線）、発表題名、学会等名、場所、年月、招待講演/口頭発表/ポスター発表、あればURL (DOIなど)］の形式で記載してください。なお、受賞歴や予定している発表があればその他に記載してよいが、最下段の件数には含めないこと。  ※1　著者が多数の場合には筆頭著者名と著者数、本人が何番目かを記載すればよい  ※2　カテゴリ毎の枠の高さは調節してよい。それでも書ききれない場合はページを追加してよい | |
| ○国内学会・研究会 | |
| ○国際会議 | |
| ○その他 | |
| 国内会議での発表総数 | 件 |
| 国際会議での発表総数 | 件 |